



きずな

第12回 山崎七郎杯 兼全道少年U-10 サッカー少年団大会 札幌地区予選

アンフィニ、FC. NORTE、元町、

コンサドーレ札幌A、元町北、

SS. LAVORO、SSS、福井野

SSS サクセス Iua

全道大会進出おめでとう！！

札幌地区代表を目指して、各会場で熱戦が繰り広げられました。結果、上記9チームが全道大会に進出することになりました。全道の場で貴重な経験をしてきてほしいと思います。4年生以下の選手にとっては初めての公式戦で分からないことも多くあったかもしれませんが、大会を通じて多くのことを学んだことと思います。今後もいいプレーがそれぞれの試合でできるように、日々のトレーニングに励んでほしいと思います。

6月25日(土) コンサドーレG(A)		
クラブフィールズ	アンフィニ	
0	0-1 0-1	2

立ち上がりから互いに縦パスを積極的に入れ、ドリブルでゴールに迫る展開が多く続く。最終ラインが体を張って守り、なかなかゴールを奪えない時間が続く。しかし、前半11分にアンフィニ⑪がキーパーと1対1になり、冷静にゴールネットを揺らし

先制点を挙げる。フィールズもドリブルで仕掛け続けるがゴールは割れず。後半4分にも追加点を挙げたアンフィニが全道への切符を手にした。

6月25日(土) コンサドーレG(B)		
藻南	FC. NORTE	
0	0-2 0-4	6

試合開始から気合十分の両チーム。藻南は積極的にインターセプトを狙い攻撃のきっかけを探る。迎えた前半6分、NORTEの⑫がFKを豪快に決めて先制。藻南も負けじとボールを動かし攻撃を作るが、前半終了間際に失点を許し、2点ビハインドで後半を迎える。後半に入ってもNORTEの勢いは止まらず、追加点を加える。最後まで戦い抜いた藻南の健闘は光ったが、NORTEが勝利を収めた

6月25日(土) コンサドーレG(A)		
山の手	元町	
0	0-0 0-1	1

立ち上がりからゴール前に人数をかけて攻め込む山の手。しかし、元町も粘りのディフェンス。一進一退の攻防が続く。後半に入っても、互いのキーパーの活躍もあり、無得点のまま時間だけが経過していく。迎えた後半9分元町の⑲がゴール前に抜け出し、ついにゴールネットを揺らす。その後、山の手もCKを得てチャンスを掴むも、ゴールは奪えず終了の笛が。元町が全道へと駒を進めた。

6月25日(土) コンサドーレG(B)		
SSS コラソン	コンサドーレ札幌A	
0	0-0 0-2	2

個々の能力が高く、1対1の局面でも激しい戦いが見られ、決勝戦らしいハイレベルな戦いに。どちらも譲らず、拮抗したまま前半を終える。迎えた後半、左サイドでボールを受けたコンサドーレ⑦がゴール前へ切れ込み、キーパーをよく見てゴールへ流し込み、コンサドーレが先制点を挙げた。SSSもチャンスを作るも生かせず、試合終了間際にコンサドーレに追加点を許す。コンサドーレが勝利した。

6月25日(土) コンサドーレ G (A)		
大谷地	元町北	
0	0-3 0-1	4

試合早々にチャンスを得たのは大谷地であったが決めきることができず。一方、元町北は迎えた5分、⑯が左サイド駆け上がり先制ゴールを奪う。勢いづいた元町北は7分、10分にも追加点を挙げ、試合を優位に進める。しかし、大谷地も最後まで諦めず、選手たちはひたむきにプレーを続ける。大谷地は、カウンターから攻撃を作るも結局ゴールを奪えず、元町北が全道への切符を手にした。

6月25日(土) コンサドーレ G (B)		
ベアフット北海道	SS. LAVORO	
0	0-2 0-0	2

東雁来特有の風が吹き始めたコンサドーレグラウンド。開始早々にサイドからの折り返しがゴールへと吸い込まれ、LAVOROが先制点を挙げる。スピード溢れるベアフットのFW陣がゴールに迫るも、ゴールをこじ開けられず。前半10分にLAVOROが追加点を挙げ前半を折り返す。後半に入っても、ドリブル突破を何度も試みるベアフットであったが、LAVOROの堅い守備に阻まれる。後半は一進一退の展開が続いたが、LAVOROが勝利を収めた。

6月25日(土) コンサドーレ G (A)		
福住	SSS	
0	0-2 0-1	3

開始早々に先制点を挙げたSSS。キープ力の高いSSSだが、福住のDF陣も懸命に対応する。迎えた

9分、SSS⑧がゴールをよく見てゴールを奪い追加点を挙げる。後半に入り、風上に立った福住は全体を押し上げ、ゴールへ迫る。だが、後半7分にSSSの⑥にドリブル突破を許し、ゴールを奪われてしまう。そのままSSSが勝利を収めた。

6月25日(土) コンサドーレ G (B)		
豊園	福井野	
0	0-1 0-0	1

ゴールキックも思うように飛ばないほどの強風が吹き始めたコンサドーレグラウンド。前半、ペナルティエリアの外から、福井野の⑩が思い切ってシュート。キーパー触るもボールはゴールラインを割り、ゴールイン。豊園も後半に入り、キーパーからのキックがゴールに迫るもバーに嫌われゴールならず。互いに裏のスペースを狙い果敢に攻め込むも試合終了の笛が。福井野が勝利した。

6月25日(土) コンサドーレ G (A)		
札幌 Jr.	SSS サクセス lua	
3	2-2 1-3	5

互いにゴールを奪い合う白熱の一戦となる。先制したのは札幌 Jr.しかし、SSSサクセスも慌てずにゲームをつくり、前半6分に追いつく。前半は互いにもう1点ずつ加え、2対2で後半を迎える。風下のSSSサクセスだったが、激しいプレスからボールを奪い、力強くゴールへ迫る。札幌 Jrも最後まで集中を切らさずに戦ったが、後半に3点を奪ったSSSサクセスが全道への切符を手にした。

